

北条氏支配領域図



〈小田原合戦後の北条氏〉

小田原合戦後、五代氏直は高野山に追放となり、四代氏政の弟・氏規も従いました。氏規は以前より羽柴秀吉や徳川家康の外交を担当しており、その長けた能力を買われ、河内狭山の地に知行を与えられました。氏規を藩祖とし、子であり、氏直の養子となった氏盛を初代として、狭山北条氏が興り、以降明治維新まで十二代続きました。

※各時期の最大領域を示しましたが、確定が困難な地域、想定した地域や後に他の大名に支配が移った地域などを含みます。

早雲寺殿廿一箇条

- 一、可信佛神事
- 二、朝早可起事
- 三、夕早可寝事
- 四、手水事
- 五、拝事
- 六、刀衣裳事
- 七、結髪事
- 八、出仕事
- 九、受上意時事
- 十、不可為雑談虚笑事
- 十一、諸事可任人事
- 十二、讀書事
- 十三、宿老祇候時禮義事
- 十四、不可申虚言事
- 十五、可學歌道事
- 十六、乗馬事
- 十七、可撰朋友事
- 十八、可修理四壁垣牆事
- 十九、門事
- 二十、火用心事
- 二十一、文武弓馬道事

「早雲寺殿廿一箇条」は早雲作と伝わる家訓です。北条氏は、早雲の教えをよく守り、五代百年の治世を築きました。

北条氏の領国経営

北条早雲は一般に「戦国の梟雄」と呼ばれ、成り上がりの戦国武将と見られることが多かったのですが、近年の研究の成果によって、そのイメージは覆され、実像が明らかにされてきています。

室町幕府の重臣の家系に育ち、禅を学んだ教養人であった早雲は、税制改革に着手しました。以後五代百年にわたり関東に君臨し、領民の安寧を理想とする国づくりに行った北条氏は、家督争いや一族家臣の真切り行為もほとんどなく、領民に慕われたといわれます。

- その1 早雲は、他の戦国大名に先駆け、検地を行い、過酷な税に苦しむ領民のため年貢を引き下げる改革をしました。
- その2 京都から粟を取り寄せ、領民を疫病から救いました。
- その3 早雲作と伝わる家訓「早雲寺殿廿一箇条」では、仏神の信仰に始まり、早寝早起き・掃除・防犯・火の用心等の家政上の注意、出仕時の主君への応対・読書・歌道・乗馬等の修養など、日常における注意点や心得が事細かに簡潔に記されています。この教えはその後代々受け継がれました。
- その4 氏網は、農民あての文書に虎の印判を押すという画期的な手法を用いました。それまで家臣や代官によって間接的に支配していた農民を直接支配するようにし、家臣等による非法を防ぎました。
- その5 堅実さを重んじた氏網は氏康に五箇条の遺言状を与え、領国経営の秘策を伝えました。
 - 一、正しい行いを守る「義」の大切さ
 - 二、部下、領民への慈悲心
 - 三、身の分限を守ること
 - 四、儉約を守ること
 - 五、勝つて兜の緒をしめよということ
- その6 氏康は、領域ごとに編成・配備した軍団「衆」の実態を示した小田原衆所領役帳(北条氏所領役帳)を作成し、労役の賦課や費用の拠出などを求める際の台帳として用いて、家臣団統制を確固としました。

北条五代観光推進協議会とは

北条五代観光推進協議会は、戦国の世にあって親兄弟争うことなく五代百年にわたり関東を治めた北条氏にゆかりのある12市2町 岡山県井原市、大阪府大阪狭山市、静岡県沼津市、三島市、伊豆市、伊豆の国市、神奈川県横浜市、相模原市、鎌倉市、小田原市、箱根町、東京都八王子市、埼玉県川越市、寄居町の行政及び観光協会が連携し、北条氏のさまざまな偉業や魅力を活用した観光事業を展開することにより、北条氏ゆかりの地として歴史や文化を広く全国に紹介し、地域の活性化を図ることを目的としています。

井原地域創生課 ☎0866-62-8850	小田原市観光課 ☎0465-33-1521	(一社)伊豆の国市観光協会 ☎055-948-0304
大阪狭山市教育委員会歴史文化グループ ☎072-366-0011	箱根町観光課 ☎0460-85-7410	港北観光協会 ☎045-540-2234
沼津市観光戦略課 ☎055-934-4747	八王子市観光課 ☎042-620-7378	(一社)相模原市観光協会 ☎042-771-3767
三島市商工観光課 ☎055-983-2656	川越市観光課 ☎049-224-5940	(公社)鎌倉市観光協会 ☎0467-23-3050
伊豆市観光商工課 ☎0558-72-9911	寄居町商工観光企業誘致課 ☎048-581-2121(代)	(一社)小田原市観光協会 ☎0465-22-5002
伊豆の国市観光課 ☎055-948-1480	井原市観光協会 ☎0866-62-8850	(一財)箱根町観光協会 ☎0460-85-5443
横浜市港北区地域振興課 ☎045-540-2234	NPO法人沼津観光協会 ☎055-964-1300	(公社)八王子観光コンベンション協会 ☎042-643-3115
相模原市津久井まちづくりセンター ☎042-780-1403	(一社)三島市観光協会 ☎055-971-5000	(公社)小江戸川越観光協会 ☎049-227-8233
鎌倉市観光商工課 ☎0467-61-3884	(一社)伊豆市観光協会 ☎0558-73-1958	寄居町観光協会 ☎048-581-3012

「北条五代」を大河ドラマに!

北条五代観光推進協議会

縁寿應穩



縁寿應穩

戦国北条家の人びと

虎朱印に刻まれている「縁寿應穩」(縁寿應穩)には、縁(財産)と寿(生命)が応(まさ)に穩やかであるように。人々が平和で暮らすという願いが込められているといわれ、北条家の家印として使われていた。

